

# こんにちは！ MED 国立東海病院



## ノロウイルスに気を付けましょう

年末も近づき寒さも日増しに厳しくなってきました。1年を通して病気はたくさんありますが、この時季になり毎年増加する疾患があります。それは風邪や胃腸炎です。これらのほとんどはウイルスの感染による症状で、ウイルスの種類は、数百以上あります。今回はウイルスによる胃腸炎の中でも有名なノロウイルスのお話をします。

### ■ノロウイルスにご用心！

皆さんはこんなことを聞いたことはありませんか？「下痢風邪になった」とか「胃腸の風邪と言われた」、「下痢嘔吐症」「急性ウイルス性胃腸炎」「ウイルス性腸炎」と診断された」などです。これら一連の下痢や嘔吐、発熱、腹痛などはほとんどがウイルスの感染によるもので、症状を引き起こすウイルスはいろいろな種類が存在します。その中でよく耳にするのがノロウイルスです。どうしてこんなにノロウイルスが有名なのでしょうか。



### ■ノロウイルスの特徴

ノロウイルスに感染すると、下痢や嘔吐、発熱などの症状が現れます。それは他の「おなかの風邪」とそれほど変わりはありません。ノロウイルスの特筆すべきところは、その感染力の強さにより、集団発生しやすいことです。人が集まる学校や施設などで広まると、苦しい思いをする個人も大変ですが、一度に多数の人の健康が害されることになり、社会活動にも影響が出てしまう恐れがあるのです。

ノロウイルスは患者さんの下痢便や嘔吐物に多く存在し、ウイルスが手指を介して口から感染します。ノロウイルスは手指の消毒用アルコールでは殺菌されません。流水で洗い流すことが大切です。感染してから発症するまでは1～2日程度と早く、気付いた時には広がっています。

### ■予防と治療

予防はなんといっても日ごろの一般的な衛生管理(特に手洗い)が大切です。トイレを使用した後などには必ず手を洗いましょう。身近にいる患者さんの下痢便や嘔吐物は迅速に処理し、できればマスクとビニール手袋を使い直接触れないようにしましょう。汚染された環境を消毒する際は市販されている家庭用消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)が有効です。



これからの季節、病院にもノロウイルスを心配して下痢・嘔吐の患者さんが受診されます。治療法は他の胃腸炎と変わりはありません。おなかのはやり風邪ですから、何事も本質を見抜くことが大切で、不安の一人歩きは混乱のもとです。適切な療養や治療をしましょう。

## 健診室からのお知らせ

人間ドックのオプション検査の紹介です。

### 【頸動脈超音波検査】(費用：3,680円)

頸動脈は首の両側を大動脈から頭部へ通じる血管です。頸動脈が原因の脳梗塞は重症化することが知られています。血管の壁の厚さ、血管の太さ、血管の石灰化変性などの状態を観察し、脳梗塞の原因となる疾患の有無を調べます。ご希望の方は、人間ドックと同時に申し込んでください。

●問い合わせ 国立東海病院健診直通(☎282-2614)

問い合わせ●国立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)